

# 競 技 運 営 注 意 事 項

1 本大会は、2018 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

## 2 練習について

- (1) 練習は、プログラム記載の指定された会場で、日程に従い実施すること。
- (2) 各練習場において、逆走及び牽引ロープ・ミニハードル・マーカークーン等の器具を用いた練習は禁止する。
- (3) 競技場外のジョギングコースでの逆走、スパイクの使用、ハードルの設置は禁止する。
- (4) 本競技場の芝生内での投てき練習は一切禁止する。

## 3 室内練習場使用上の注意

- (1) 走練習のみとし、砂場は使用禁止とする。
- (2) 走る方向は、東側（1500m スタート側）から西側（200m スタート側）への一方通行とする。
- (3) 用具（ブロック、ハードル等）の持ち込みは禁止する。
- (4) 室内練習場内での、シート・荷物などを置いての場所取りは禁止する。

## 4 招集について

- (1) 競技者招集所は、本競技場第 2 ゲート外側（1500m スタート付近）に設ける。
- (2) 競技者は招集開始時刻（点呼開始時刻）に招集所で待機し、最終確認を受けること。その際係員にナンバーカード・氏名・校名とスパイクピンの点検を受け、競技者係の指示に従って移動すること。なお、点呼後は、待機場所を離れないこと。

トラック種目	招集開始時刻 (点呼開始)	招集完了時刻 (移動開始)	フィールド種目	招集開始時刻 (点呼開始)	招集完了時刻 (移動開始)
予 選 準 決 決 勝	競技開始 25分前	競技開始 15分前	跳 躍	競技開始 50分	競技開始 40分
			棒高跳	競技開始 100分	競技開始 90分
3000m S C 予選  1 組 2 組	競技開始 25分前 15分前	競技開始 15分前 5分前	投てき	競技開始 50分	競技開始 40分
			混 成	トラック種目	
	競技開始 25分前	競技開始 15分前			
4×400mR 予選 1・2組 3・4組	競技開始 25分前 15分前	競技開始 15分前 5分前	フィールド種目		
			競技開始 40分前	競技開始 30分前	

※混成競技の招集は、1 日目及び 2 日目の最初の競技のみ招集所で行う。2 種目以後は混成競技者控室で確認を受け、係の指示に従うこと。

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなし、出場を認めない。
- (4) 2 種目を同時に兼ねる競技者は、2 種目同時出場届を競技者係（招集所）に提出し、競技の進行に支障のないようにすること。
- (5) 入退場時の移動は、競技役員の指示に従い規律ある行動をとること。トラック競技において、スタート地点に戻る場合は、競技場の外または、ダッグアウトを通過して戻ること。
- (6) リレーのオーダーは、各ラウンドの第 1 組の招集完了時刻の 1 時間前までにオーダー用紙を競技者係（招集所）に提出すること。
- (7) 出場種目を棄権する場合は、監督会議時またはその競技種目の招集開始時刻までに棄権届を競技者係（招集所）に提出すること。

※オーダー用紙、棄権届、2 種目同時出場届は招集所に準備している。

## 5 競技・競技用具について

- (1) ナンバーカードは各種目とも、胸・背部両面に付けること。ただし、跳躍競技については背（胸）部に1枚でもよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーカードを使用する（右腰臀部）。ただし、4×100mRの第1、第2、第3走者と4×400mRの第1走者は腰ナンバーを使用しない。また、4×400mRにおいては、第2、第3走者は左腰に腰ナンバーカードを使用する。
- (3) 男子5000m・女子3000m・男女5000mWは別ナンバーカードを使用する。別ナンバーカードは主催者が用意する。選手は、招集時に自分のナンバーを持参し、競技者係から別ナンバーカードを受け取ること。
- (4) 男女混成競技の最終種目では、胸・背部両面にそれまでの総合順位の高い者から順番に別ナンバーをつけ、右腰にはレーンナンバーをつけて競技を行うこととする。
- (5) トラック競技における走路順およびフィールド競技の試技順、プログラム記載順序による。ただし、準決勝・決勝の組み合わせ及びレーン順の決定は主催者で行う。なお、男子5000m・女子3000mについては、グループスタートで実施する。
- (6) 女子3000mについては、競技が行われる当日の気象条件（気温、湿度）などを考えて、安全と健康管理上の判断で給水を行う場合がある。なお、この給水に使用する水、コップは主催者が用意する。
- (7) 跳躍競技のバーの上げ方は、次のとおりとする。（天候などにより変更することがある）

種目	練習	1	2	3	4	5	以後1人になるまで
走高跳（男）	1m75	1m80	1m85	1m88	1m91	1m94	3cmずつ
走高跳（女）	1m40	1m45	1m50	1m53	1m56	1m59	3cmずつ
棒高跳（男）	3m50	3m60	3m80	4m00	4m10	4m20	10cmずつ
	4m20						
	4m60						
棒高跳（女）	2m20	2m20	2m30	2m40	2m50	2m60	以後10cmずつ 3m00から5cmずつ
	2m70						
	3m20						

1位と全国大会出場資格者の決定におけるバーの上げ下げは次のとおりとする。

走高跳 2cm      棒高跳 5cm

混成競技の走高跳は2ピットを使用する。最初の高さについては男女とも混成競技審判員に競技開始調査用紙を記入・提出し協議の上決定する。その後のバーの上げ方は3cmずつとする。

三段跳びの踏切板は、男子12m、女子9mに設置する。

- (8) 競技用具は競技場備え付けのものを使用する。  
ただし、棒高跳のポールは、個人所有のものを使用することができる。また、投てき用具については検査の上、個人のものを使用を認める。投てき用具の検査は、競技開始1時間50分前から1時間30分前までに100mスタート付近の倉庫内で行う。なお、その投てき用具については、検査後、競技終了までは主催者側で預かる。
- (9) 競技場へのビデオ、ヘッドホンステレオもしくは類似の機器、並びに携帯端末・トランシーバー等の通信機器の持ち込みを禁止する。
- (10) 危害防止のため、セパレートレーンの競走競技においては、フィニッシュライン通過後は自己レーン（曲線）に沿って進むこと。投てき競技においては、審判員の指示以外に勝手に練習しないこと。
- (11) スパイクシューズのピンは、全天候舗装用で11本以内とし、長さは9mm以下とする。ただし、走高跳とやり投は、12mm以下とする。
- (12) フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に2カ所まで置くことができる。サークルから行う投てき競技では、マーカーを1カ所だけ置くことができる。そのマーカーは、サークル直後あるいはサークルに接して置くこと。使用できるマーカーは競技者係が招集所で渡し、そのマーカー以外使用してはならない。
- (13) 4×100mRの第2、第3、第4走者は、主催者が用意するマーカー（1個）を使用することができる。マーカーは競技者係が招集所で渡し、そのマーカー以外使用してはならない。

## 6 スタートについて

- (1) 競技規則第 162 条 7 より、1 度の不正スタートでも失格とする。ただし、混成競技においては、不正スタートは 1 回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。
- (2) 今大会は競技規則第 162 条 5 の (a) (b) (c) の不適切行為に加えて、腰・大腿・膝等が一瞬動いた動作も、注意にとどめる。

## 7 その他

- (1) 走高跳（男女）、棒高跳（男子）において 6 位入賞者が 6 名を超える場合、全国大会出場者資格者 6 名を決定するため、また棒高跳（女子）においては 4 位入賞者が 4 名を超える場合、全国大会出場者資格者 4 名を決定するため、全国大会出場者決定戦を行う。
- (2) 大会運営上に支障、問題が生じた場合は五県委員で協議して解決にあたる。抗議は、競技規則 146 条により、結果の正式発表後 30 分以内に、また、次のラウンドが行われる競技では 15 分以内に各県監督または当該競技者の監督から審判長に対して口頭で申し出ること。
- (3) 各種目とも、上位 3 位までに入賞した選手は、正式アナウンス終了後ただちに（5 分以内、本人が他の種目に出場の場合は代理人）100mフィニッシュ側の表彰控席に集合すること。表彰は、競技の服装(ユニフォーム)で行う。4 位～8 位の入賞者は表彰控室にて受領すること。
- (4) メインスタンドでの集団応援は、大会運営に支障をきたす場合があるので禁止する。その他の場所でもフィールド競技の進行の妨げとなるような応援はしないこと。
- (5) 本競技場での部旗、横断幕の掲揚については、メインスタンド、サイドスタンド、バックスタンドの最上部にのみ設置してもよい。
- (6) 観客席にシートやコーン、メガホンなど物を置いての場所取りは禁止する。また、中 2 階コンコースはシートのみでの場所取りは認めるが、通行の妨げにならないように注意すること。（テントは禁止）
- (7) 医務員は、競技場のメインスタンド下の医務室で待機している。大会出場中の急病・事故については、応急処置を行うが、それ以外の責任は負わない。
- (8) 記録の証明を希望する競技者は、大会本部受付に 500 円を添えて申し込むこと。
- (9) 当日の記録は、中 2 階通路中央付近の記録掲示板に掲示する。
- (10) 貴重品の管理は、各学校、各自で行うこと。紛失の責任は負わない。
- (11) 弁当の引き換えは、本競技場 1 階エントランスホール内で行う。
- (12) ゴミは各校・各自で持ち帰ること。コンコース内に食べ物や飲み物の残りを放置しないこと。

記録速報と競技日程のサイト

記録速報と競技日程は以下の QR コードからご覧になれます。



<http://yaaf.jp/mob/>